

平成 25 年 7 月

日本脳卒中学会会員 各位

岩手医科大学 医歯薬総合研究所
超高磁場 MRI 診断・病態研究部門
佐々木真理

急性期脳梗塞画像診断に関する国際調査へのご協力をお願い

CT, MRI などによる急性期脳梗塞の画像診断は、rt-PA 静注療法の適応決定などにおいて重要な役割を果たしています。近年、ペナンプライメージングに代表される高度な画像診断法が発達し、治療可能時間の延長や血管内治療の成績向上に寄与することが期待されていますが、実際に多施設臨床試験などで用いることは容易ではなく、適切なプロトコルの策定や参加施設の対応状況の確認に試験毎に多くの時間と労力を費やしているのが現状です。

そこで、脳卒中専門家による国際コンソシアムである **Stroke Imaging Research (STIR) Group** では、急性期脳梗塞画像診断に関する国際調査を以下の要領で行うこととしました。本調査によって世界中の脳卒中専門施設における急性期脳梗塞画像診断の対応状況を把握し、今後の国際臨床試験における参加施設の選択やプロトコルの策定に活かすことを目的としています。また、本調査の結果は **Stroke** 誌に報告予定です。

趣旨をご理解の上、本調査への積極的なご協力を何卒よろしくお願いいたします。

記

概要：

Wintermark M, et al. International survey of acute stroke imaging capabilities:
We need you! Stroke 2013 (epub ahead print)

調査用 web ページ：

<http://www.surveymonkey.com/s/DQRDYB2>

期限：

2013 年 9 月末日

問い合わせ先：

岩手医科大学 医歯薬総合研究所 超高磁場 MRI 診断・病態研究部門
佐々木真理

e-mail: masasaki@iwate-med.ac.jp

Tel: 019-651-5111(5370), Fax: 019-908-8021

以上